



HIKVISION

iVMS-4200 クライアント ソフトウェア

クイックスタートガイド

UD.6L0202B2174A01

Made in China

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、Hikvision は明示的にしろ黙示的にしろ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

このマニュアルは iVMS-4200 クライアント ソフトウェア向けです。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト（<http://overseas.hikvision.com/en/>）でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、たとえ HIKVISION がこのような損害に関して忠告を受けていて

も、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。

本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

目次

1.	概要	4
2.	システム要件	4
3.	導入方式	4
3.1	ローカル エリア ネットワークでの利用	5
3.1.1	LAN における単純な導入方式	5
3.1.2	LAN における完全な導入方式	6
3.2	ワイド エリア ネットワークでの利用	7
3.2.1	静的 IP アドレスでの WAN 利用	7
3.2.2	動的 IP アドレスでの WAN 利用	8
4.	インストールおよびアンインストール	8
4.1	インストール	8
4.2	アンインストール	12
5.	クイック スタート	13
5.1	ユーザ登録とログイン	13
5.2	スタート ウィザード	14
5.2.1	デバイス インポートのためのウィザード	14
5.2.2	ビデオ ウォール用のウィザード	22
5.3	コントロール パネル	24
5.4	ライブビュー	27
5.5	録画	29
5.6	再生	32
5.6.1	通常再生	33
5.6.2	イベント再生	36
5.6.3	同期再生	37
5.7	E マップ	37
5.7.1	E マップの追加	38
5.7.2	ホット スポット機能	40
5.7.3	ホット リージョン機能	42
5.8	ウェブ ブラウジング	44
6.	システムの終了	45

1. 概要

このガイドは、インストール、アンインストールおよび iVMS-4200 を利用したライブ ビュー、録画、デバイスの再生などの基本的な操作についての簡単な説明のみを提供するものです。ソフトウェアの利用についての詳細な情報は iVMS-4200 ユーザ マニュアルを参照してください。

2. システム要件

オペレーティング システム:Microsoft Windows 7 / Windows Server 2008 (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows XP / Windows 2003 (32 ビット)、Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows 10 (64 ビット)

CPU:Intel Pentium IV 3.0 GHz またはそれ以上

メモリ:1G またはそれ以上

ビデオカード:RADEON X 700 シリーズまたはそれ以上

GPU:256MB またはそれ以上

注意: 高い安定性と、良好なパフォーマンスのために、上記のシステム要件を満たす必要があります。

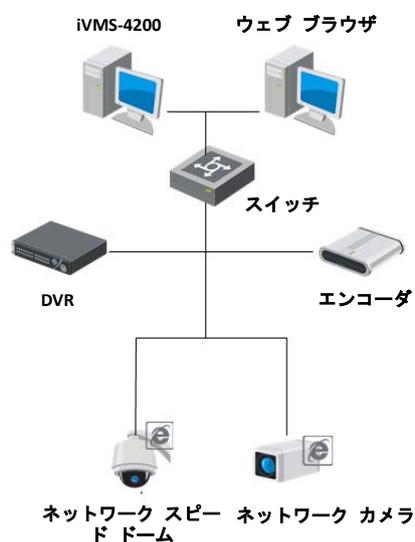
3. 導入方式

iVMS-4200 はローカル エリア ネットワーク(LAN)またはワイド エリア ネットワーク(WAN)で利用できます。この文書においては一部の接続導入方式のみが例示されます。

注意: 実環境においては、DVR、NVR、ネットワーク カメラなどの接続機器は拡張可能です。

3.1 ローカル エリア ネットワークでの利用

3.1.1 LAN における単純な導入方式



適用されるシナリオ:

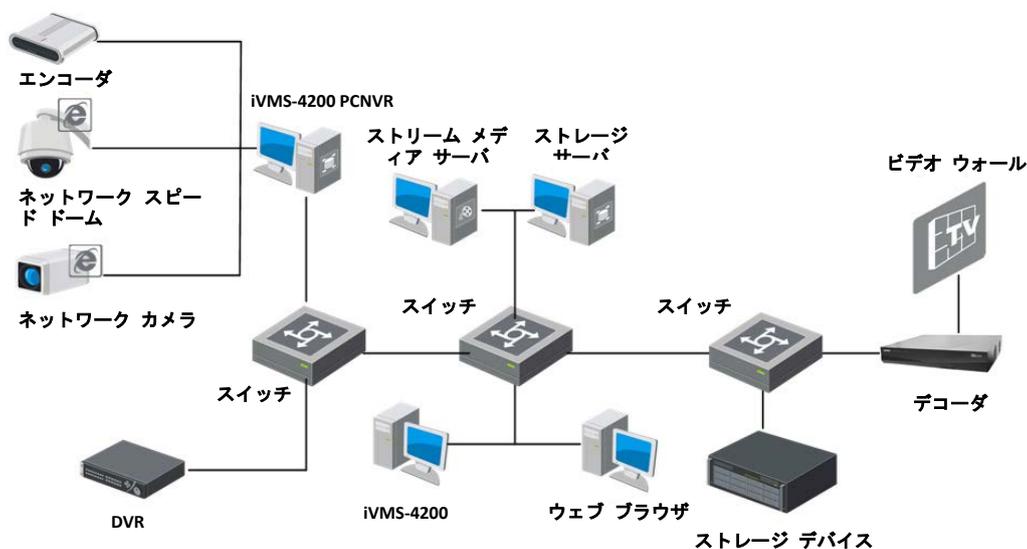
1. デバイスからのビデオ ストリームの取得を、1 つまたは少数のクライアントだけが必要としている。
2. クライアントとデバイスが同じローカル サブネットに存在している。

必要なハードウェア:

1. ネットワーク カメラ、DVR、など。
2. iVMS-4200 クライアントがインストールされている PC。
3. スイッチまたはルータ。

この導入方式は便利で費用対効果に優れています。iVMS-4200 クライアント ソフトウェアだけが必要で、ネットワーク カメラやDVRなどの接続デバイスに対して直接アクセスできます。

3.1.2 LAN における完全な導入方式



適用されるシナリオ:

1. 複数のクライアントがデバイスからのビデオストリームを取得する必要がある。
2. デバイス側にはハード ディスクがないか、またはデバイス側にはディスクがあるものの、より安全を期すためにビデオ ファイルのバックアップが必要である。

必要なハードウェア:

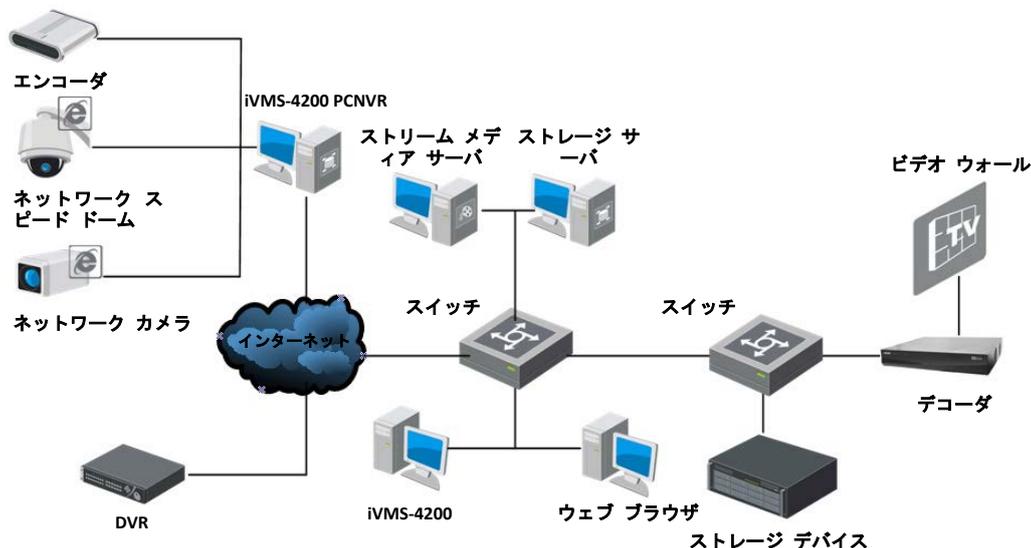
1. ネットワーク カメラ、DVR、など。
2. iVMS-4200 クライアントがインストールされている PC、iVMS-4200 PCNVR、ストリーム メディア サーバおよびストレージ サーバ。
3. スイッチまたはルータ。

DVR、HDVR、NVR、iVMS-4200 PCNVR はカメラ、スピード ドーム、ビデオ エンコーダなどに接続して管理を行うことができます。iVMS-4200 クライアントは DVR、HDVR、NVR、PCNVR を管理するために利用でき、比較的完全な管理機能を提供します。

デバイスのネットワーク負荷を下げるために、ストリーム メディア サーバを使ってビデオストリームを転送させることができます。ビデオ ファイルはローカル デバイスの HDD か、またはリモート ストレージ サーバに保存することができます。ウェブ ブラウズ経由でクライアントにアクセスし、ライブ表示、再生などの一部の基本的な操作を行うことができます。

3.2 ワイド エリア ネットワークでの利用

3.2.1 静的 IP アドレスでの WAN 利用



適用されるシナリオ:

1. デバイスに WAN 上でアクセスできる必要がある。
2. 接続されるデバイスが WAN 上で静的 IP アドレスを割り当てられている。

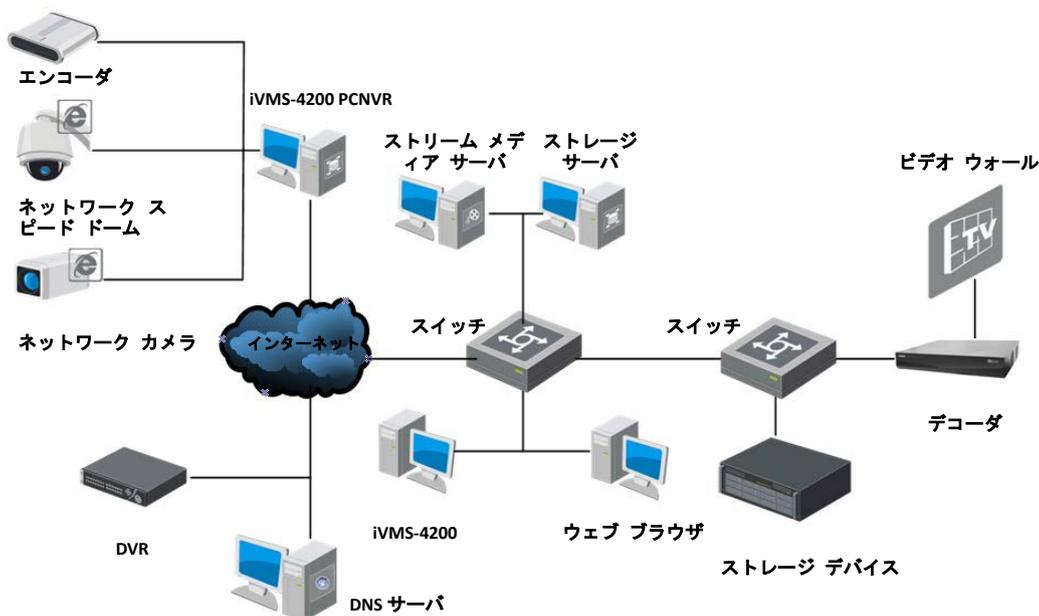
必要なハードウェア:

1. ネットワーク カメラ、DVR、など。
2. iVMS-4200 クライアントがインストールされている PC、iVMS-4200 PCNVR、ストリーム メディア サーバおよびストレージ サーバ。
3. スイッチまたはルータ。

WAN 上のデバイスに静的 IP アドレスが割り当てられ、iVMS-4200 クライアントが静的 IP アドレス経由でデバイスに直接アクセスすることができます。複数のデバイスが接続される場合にはコストがかかります。

ルータに静的 IP アドレスを割り当ててインターネットに接続し、ルータの静的 IP アドレスとポート番号を経由してデバイスにアクセスすることもできます。

3.2.2 動的 IP アドレスでの WAN 利用



適用されるシナリオ:

1. デバイスに WAN 上でアクセスできる必要がある。
2. WAN において、デバイスのドメイン名(DNS サーバに登録されている)を使用してデバイスにアクセスすることができる。

必要なハードウェア:

1. ネットワーク カメラ、DVR、など。
2. iVMS-4200 クライアントがインストールされている PC、iVMS-4200 PCNVR、ストリーム メディア サーバおよびストレージ サーバ。
3. スイッチまたはルータ。

Peanuthull、DynDNS、HiDDNS などの DNS サーバにデバイスのドメイン名を登録することで、デバイスのドメイン名を使用してデバイスにアクセスすることができます。

ルータを介してインターネットに接続されている複数のデバイスがある場合は、ルータにドメイン名を設定して、ルータのドメイン名とポート番号を使用してデバイスへのアクセスを取得することでドメイン名のコストを削減することができます。

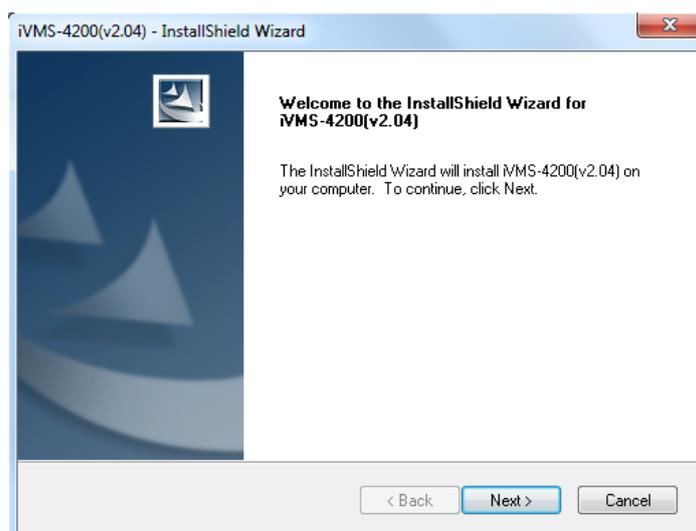
4. インストールおよびアンインストール

4.1 インストール

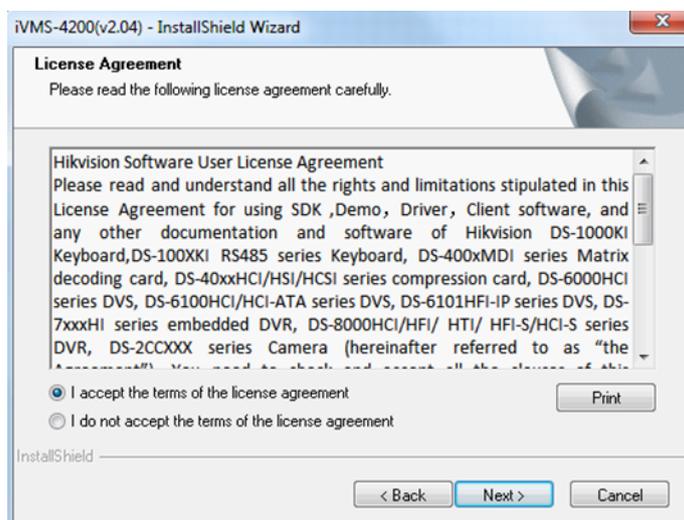
適切なコンピュータにインストール メディアを挿入します。

次の手順を実行して、iVMS-4200 クライアント ソフトウェアをインストールします。

1. プログラム ファイルをダブル クリックして、InstallShield ウィザードの[ようこそ]画面に入ります。[次へ]ボタンをクリックし、InstallShield ウィザードを開始します。



2. ライセンス契約を読みます。ライセンス契約を印刷したい場合は、**[印刷]**ボタンをクリックします。

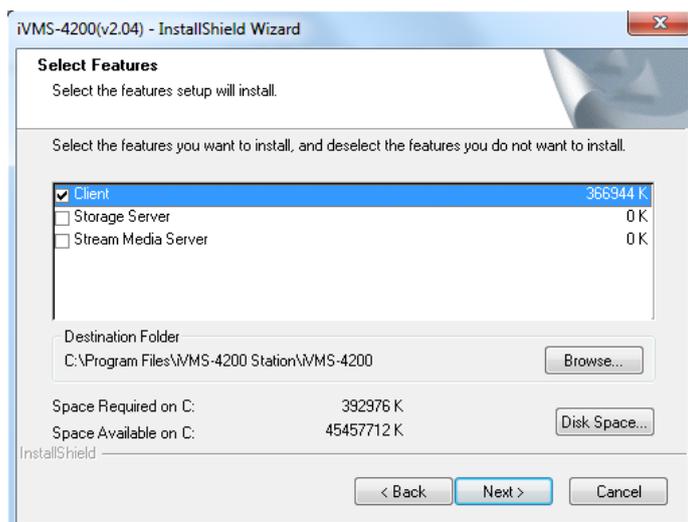


ライセンス契約の条項に同意する場合は**[私はライセンス契約の条項に同意します]**ラジオボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックして続けます。

同意しない場合、**[私はライセンス契約の条項に同意しません]**ラジオ ボタンをクリックし、**[キャンセル]**ボタンをクリックして、インストールを中止します。

3. 次の画面でインストールする機能モジュールを選択するよう求められます。



ストレージ サーバ:ストレージ サーバは PC にインストールされた NVR として動作し、ストレージ サーバにビデオ ファイルを保存することができます。

ストリーム メディア サーバ:ストリーム メディア サーバを利用してビデオ ストリームを転送し、デバイスのネットワーク負荷を下げるすることができます。

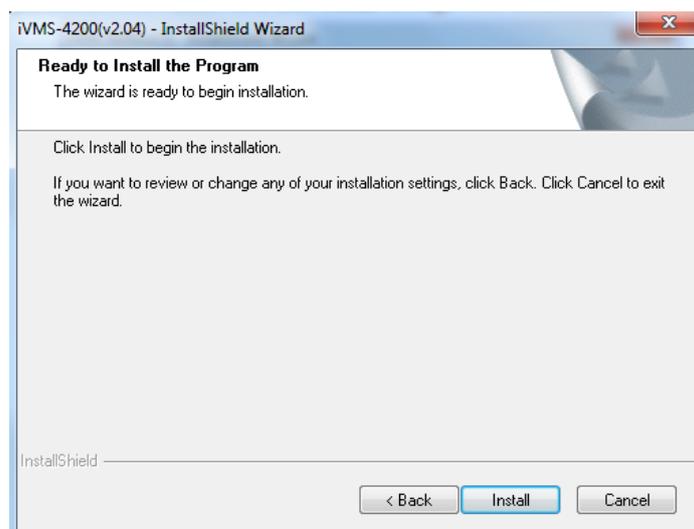
クライアントソフトウェアがインストールされるインストール ディレクトリを設定します。表示されたデフォルトのディレクトリを使用するか、**[参照]**ボタンをクリックして別のディレクトリを選択することができます。

[ディスク スペース]ボタンをクリックしてソフトウェアをインストールするディスク ドライブを選択し、画面上でディスクの容量情報をチェックすることもできます。

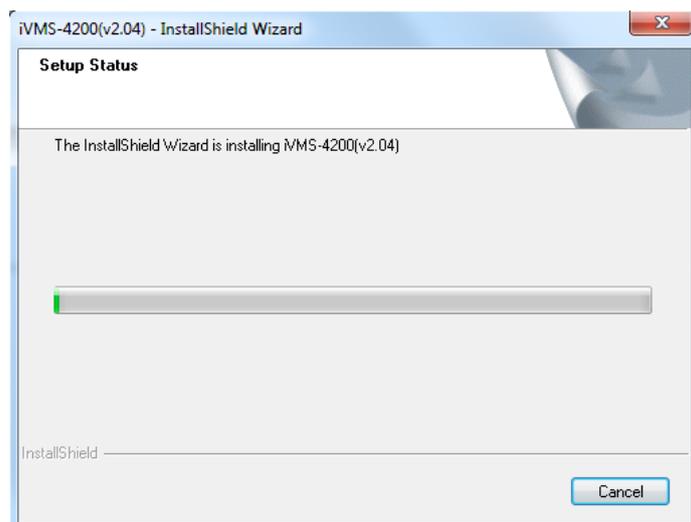
注意：デフォルト ディレクトリは `C:\Program Files\iVMS-4200 Station\iVMS-4200` です。

[次へ]ボタンをクリックして続けます。

4. インストール事前情報を読み、**[インストール]**ボタンをクリックしてインストールを開始します。



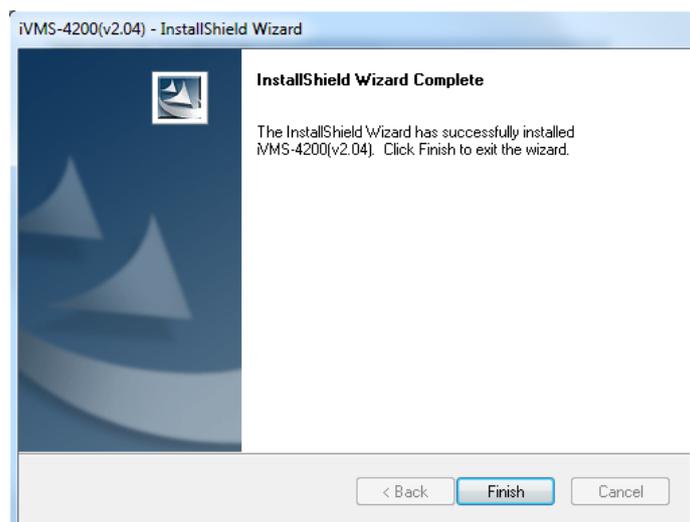
5. インストールの進行状況を示すパネルが表示されます。インストールの進行にしたがって完了パーセンテージ バーが更新されます。



6. 必要に応じてセットアップ種別を選択します。
[クライアントのデスクトップ アイコンを作成する]チェック ボックスをチェックして、
デスクトップにクライアント ソフトウェアのショートカット アイコンを作成できます。



7. インストール事後情報を読み、[完了]ボタンをクリックします。



4.2 アンインストール

プログラム ファイルを再度ダブルクリックして[削除]を選択し、[次へ]ボタンをクリックし、[はい]をクリックして、指示に従って iVMS-4200 をアンインストールします。

5. クイック スタート

5.1 ユーザ登録とログイン

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを最初に使う際には、ログイン用にスーパー ユーザを登録する必要があります。

手順：

1. スーパー ユーザ名とパスワードを入力します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。データセキュリティを向上させるために、強力なパスワードを使用するよう強くお勧めします。
2. パスワードを確認します。
3. オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェック ボックスをチェックし、ソフトウェアに自動ログインすることもできます。
4. [登録]ボタンをクリックします。これで、ソフトウェアにスーパー ユーザとしてログインすることができます。



- ◆ ユーザ名には以下の文字を利用することはできません: \ : * ? " < > |. また、パスワードの長さは 6 文字未満にはできません。
- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。

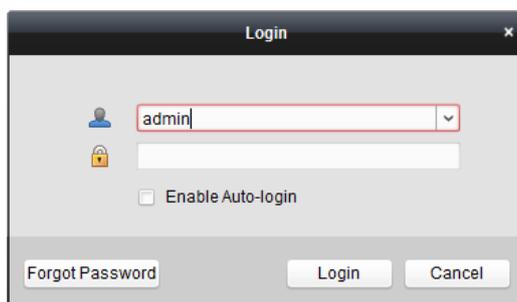
登録後に iVMS-4200 を開いた場合、登録したユーザ名とパスワードでログインすることができます。

手順：

1. 登録したユーザ名とパスワードを入力してください。

注意: パスワードを忘れた場合、[パスワードを忘れた場合]ボタンをクリックし、ポップアップ ウィンドウに表示される暗号化された文字列を記憶してください。販売店または会社のテクニカル サポートに連絡し、暗号化された文字列を送って、パスワードをリセットできます。

- オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェック ボックスをチェックし、ソフトウェアに自動ログインすることもできます。
- [ログイン]ボタンをクリックします。



5.2 スタート ウィザード

5.2.1 デバイス インポートのためのウィザード

デバイスの追加、デバイスのグループへのインポート、録画スケジュールの設定といった基本的な操作をまだすべて確認していない場合、スタート ウィザードがポップアップし、クライアント ソフトウェアの基本的な操作をガイドしていきます。

以下の手順を実行し、ウィザードを通して提供されている操作について確認してください。

ステップ 1: ガイドの開始

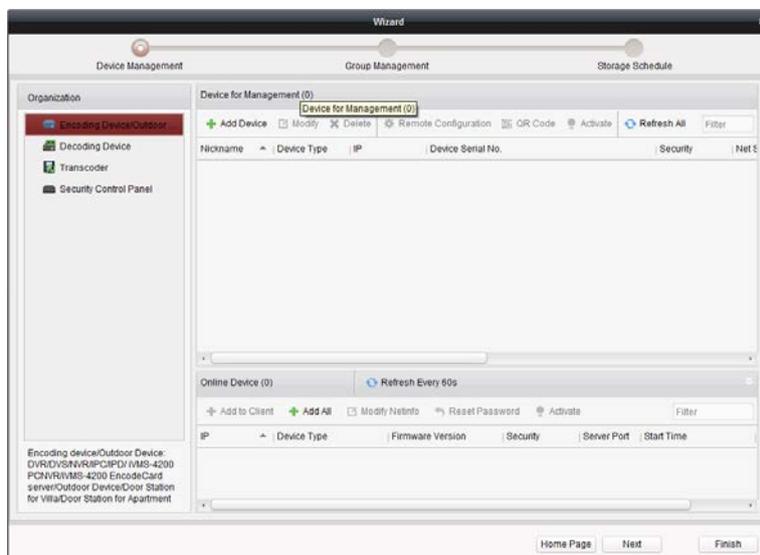
[デバイスおよびストレージ スケジュールの設定]ボタンをクリックし、ガイドを開始してください。

[閉じる]ボタンをクリックしてウィザードを終了することもできます。



ステップ 2: デバイスの追加

ネットワーク カメラ、エンコーダ、デコーダ、DVR、NVR、セキュリティ コントロール パネル、ビデオ インターコム デバイスなどのデバイスは、クライアントに追加することでリモート設定やライブ ビュー、再生、アラーム設定、ビデオ ウォール設定などの管理を行うことができます。



追加するエンコーディング デバイスまたはデコーディング デバイスを選択できます。エンコーディング デバイスには DVR、エンコーダ、NVR、IP カメラ、IP ドーム、iVMS-4200 PCNVR および iVMS-4200 エンコーディング サーバなどが含まれます。デコーディング デバイスにはデコーダおよび iVMS-4200 デコーディング サーバが含まれます。

以下の方法でデバイスを追加することができます：

- オンライン デバイスの追加
- IP アドレス/ドメインによるデバイスの追加
- IP セグメントによるデバイスの追加
- IP サーバによるデバイスの追加
- HiDDNS によるデバイスの追加
- デバイスの一括追加

パスワードの作成

目的：

デバイスによっては、ソフトウェアに追加して適切に利用できるようにするために、デバイスをアクティベートするパスワードを作成する必要があります。

注意： この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

手順：

1. デバイス管理ページに入ります。
2. [管理するデバイス]または[オンライン デバイス]エリアからデバイスのステータス([セキュリティ]欄に表示されます)をチェックし、非アクティブなデバイスを選択します。

Online Device (4)						
IP	Device Type	Firmware Version	Security	Server Port	Start Time	Ac
10.16.1.102	DSI-6701HFHV	V1.0.0build 150730	Active	8000	2015-08-17 14:57:51	Nc
192.168.1.64	DS-2ZMN3006(YF)	V5.3.0build 150323	Inactive	8000	2015-08-17 16:01:02	Nc
10.16.1.93		V5.3.10build 150729	Active	8000	2015-08-17 09:02:35	Nc

Device for Management (13)						
Nickname	IP	Device Serial No.	Security	Resource Usa...	HDD St	
4124 Counting	10.11.37.197					
5220	172.10.18.150	DS-2DF5220S-D420150211CCWR485342073B	Risky			
9664	10.16.1.13	1620141031AARR483862763WCVU				
Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR407129395WCVU	Risky			
Traffic IPC	172.10.21.202					
Traffic Speed ...	10.10.38.155	iDS-TCS215-F520150227CCCH505266451B	Risky			
7286	10.16.1.199	DS-2DF7286-A20141110CCWR481390656C	Strong			
IPD Traffic	172.10.21.180	iDS-2DF8223I-A20141226CCCH496681277B	Risky			
2412	10.16.1.251	DS-2CD2412F-IW20140118CCCH450047294	Risky			
IPC 01	10.16.2.64		Inactive			

3. [アクティベート]をクリックすると、アクティベーション インターフェイスがポップアップします。
4. パスワード フィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワードの推奨 お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

Activation ✕

User Name: admin

Password: Strong

Valid password range [8-16]. You can use a combination of numbers, lowercase, uppercase and special character for your password with at least two kinds of them contained.

Confirm Password:

5. [OK]ボタンをクリックし、デバイスのパスワードを作成します。パスワードが問題なく設定されると「デバイスがアクティベートされました」ウィンドウがポップアップします。
6. [ネット情報の変更]をクリックするとネットワーク パラメータ変更インターフェイスがポップアップします。

注意： この機能は[オンライン デバイス]エリアでのみ利用できます。デバイスをソフ

トウェアに追加する必要がある場合、デバイスの IP アドレスをお使いの PC と同じサブネットに変更することができます。

7. デバイスの IP アドレスをお使いの PC と同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、DHCP のチェック ボックスをチェックしてください。
8. ステップ 4 で設定したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックしてネットワーク設定を完了します。

オンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアと同じローカル サブネットに属するアクティブなオンライン デバイスは[オンライン デバイス]エリアに表示されます。[60 秒ごとに更新]ボタンをクリックし、オンライン デバイスの情報を更新することができます。

単一のオンライン デバイスの追加

手順：

1. リストから、追加したいデバイスを選択します。

注意：非アクティブなデバイスについては、パスワードを作成しなければそのデバイスを正しく追加することはできません。詳細な手順については「パスワードの作成」節を参照してください。

2. [クライアントに追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
3. 必要な情報を入力します。

ニックネーム：好みに合わせてデバイスの名前を編集します。

アドレス：デバイスの IP アドレスを入力します。この追加モードではデバイスの IP アドレスは自動的に取得されます。

ポート：デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。

ユーザー名：デバイスのユーザー名を入力します。デフォルトでは、ユーザー名は admin です。

パスワード：デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. オプションとして、[グループにエクスポートする]チェック ボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイス配下のすべてのカメラは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
5. [追加]ボタンをクリックし、デバイスを追加します。

注意：オフライン デバイスを追加したい場合、[オフライン デバイスを追加する]チェック ボックスをチェックして、カメラの数とデバイスのアラーム入力することができます。

複数のオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアに複数のオンライン デバイスを追加したい場合、Ctrl キーを押したままクリックして複数のデバイスを選択し、[クライアントに追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。ポップアップ メッセージ ボックスに、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアにすべてのオンライン デバイスを追加したい場合、[すべて追加]をクリックし、ポップアップ メッセージ ボックスの[OK]ボタンをクリックします。そしてポップアップ メッセージ ボックスに、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

ネットワーク情報の変更

リストからデバイスを選択し、[ネット情報の変更]をクリックし、デバイスのネットワーク パラメータ、例えば DHCP、IP アドレス、ポート番号およびゲートウェイなどを変更し、デバイスの管理者パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックして設定を保存します。

パスワードのリセット

異なるデバイスごとに、デフォルト パスワードの復元またはパスワードをリセットするための 3 つの異なる方法があります。

リストからデバイスを選択し、[パスワードをリセット]をクリックします。

オプション 1:

セキュリティ コード フィールドのあるウィンドウがポップアップした場合、セキュリティ コードを入力することで選択したデバイスのデフォルト パスワードを復元できます。

注意: セキュリティ コードはデバイスのデータとシリアル番号をメーカーに送ると返信されてきます。

オプション 2:

ファイル インポートとファイル エクスポートのボタンがあるウィンドウがポップアップした場合、次の手順を実行してデフォルト パスワードを復元します:

1. **[エクスポート]**をクリックし、PCにデバイス ファイルを保存します。
2. ファイルを当社のテクニカル エンジニアに送信します。
3. **[インポート]**をクリックし、テクニカル エンジニアから受信したファイルを選択します。
4. **[OK]**ボタンをクリックし、デバイスのデフォルト パスワードを復元します。



- ◆ 管理者アカウント用のデフォルト パスワード(12345)は、初回ログインのためだけに利用されます。製品が正しく動作することを妨げたり、その他の望ましくない結果に繋がるおそれのある他者による製品への無許可のアクセスのようなセキュリティ リスクに対して安全性を高めるために、このデフォルト パスワードは変更しなければいけません。
- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。

オプション 3:

ファイル インポートとファイル エクスポートのボタンがあるウィンドウがポップアップし、パスワードとパスワード確認のフィールドがポップアップした場合、次の手順を実行してパスワードをリセットします:

1. **[エクスポート]**をクリックし、PCにデバイス ファイルを保存します。
2. ファイルを当社のテクニカル エンジニアに送信します。
3. **[インポート]**をクリックし、テクニカル エンジニアから受信したファイルを選択します。
4. **[パスワード]**と**[パスワードの確認]**の各テキストフィールドに新しいパスワードを入力します。
5. **[OK]**ボタンをクリックし、パスワードをリセットします。



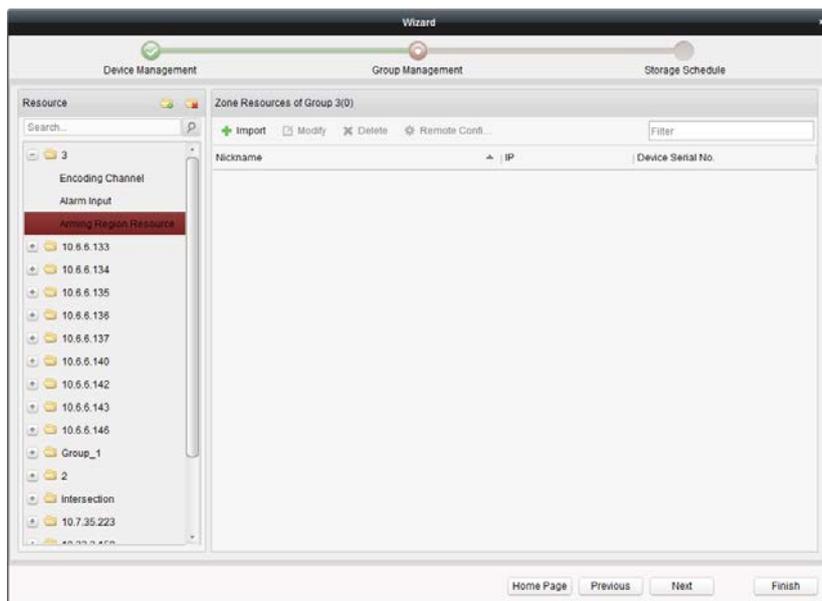
デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

その他のデバイスを追加する方法の詳細については iVMS-4200 ユーザ マニュアルを参照してください。

[次へ]ボタンをクリックして続きます。[ホームページ]ボタンをクリックして、ウィザードのホームページに戻るか、または[完了]ボタンをクリックして終了します。

ステップ 3: デバイスのグループへのインポート

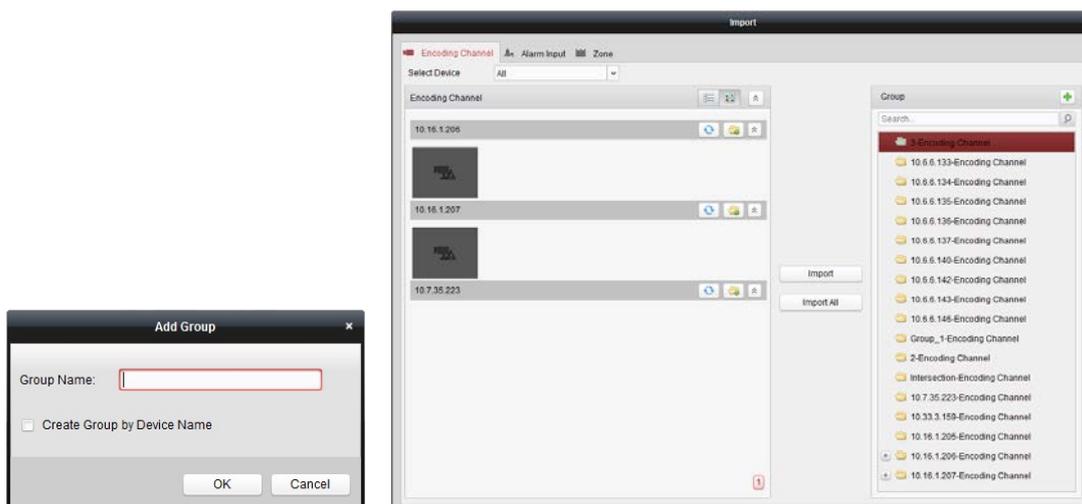
追加されたデバイスを便利に管理するためにはグループにまとめる必要があります。ライブビューの取得、ビデオ ファイルの再生およびデバイスに対するその他の操作はグループを通じて行うことができます。



手順 :

1.  をクリックしてグループ追加ダイアログ ボックスを開き、任意のグループ名を入力して[OK]ボタンをクリックします。
2. 右側のパネルの[インポート]をクリックし、[エンコーディング チャンネル]タブをクリックし、エンコーディング チャンネル インポート インターフェイスを開きます。
3. サムネイル/リスト ビューから、カメラのサムネイル/名前を選択します。
4. グループ リストからグループを選択します。
5. [インポート]ボタンをクリックして、選択したカメラをグループにインポートします。
[すべてインポート]ボタンをクリックしてすべてのカメラを選択したグループにインポートすることもできます。
6.  をクリックし、グループ管理インターフェイスに戻ります。

注意 : 1 つのグループには最大 256 台のカメラを追加できます。



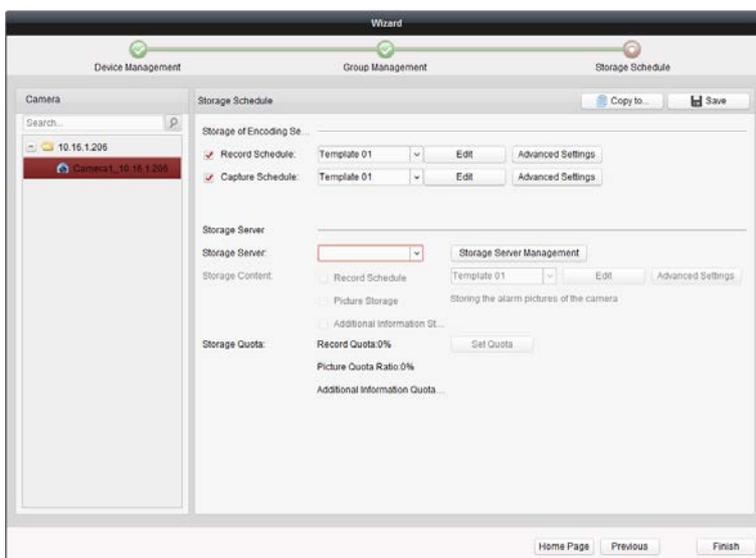
インポート エンコーディング チャンネル インターフェイスでは以下のボタンが使用できます:

- | | | |
|---|------------------|--|
|  | リスト ビュー | カメラをリスト ビューで表示します。 |
|  | サムネイル ビュー | カメラをサムネイル ビューで表示します。 |
|  | 更新 | 追加されたカメラの最新情報を更新します。 |
|  | インポート | デバイス名-エンコーディング チャンネル(アラーム 入力)という名前のグループを作成して、デバイスをグループにインポートします。 |
|  | 折りたたみ/展開 | カメラのサムネイルを折りたたみ/展開します。 |

[次へ]ボタンをクリックして続きます。

ステップ 4:録画スケジュールの設定

ビデオ ファイルは HDD、Net HDD、ローカル デバイスの SD/SDHC カード、または接続されたストレージ サーバに記録することができます。



手順：

1. カメラ グループ リストからカメラを選択します。
2. **[録画スケジュール]**チェック ボックスをチェックして、デバイスのローカル録画を有効化します。
3. ドロップダウン リストから、録画スケジュール テンプレートを選択します。
4. **[詳細設定]**をクリックして、録画パラメータを設定します。
5. オプションとして、**[コピー先...]**をクリックし、録画スケジュールを他のカメラにコピーできます。
6. **[保存]**ボタンをクリックし、設定を保存します。

ステップ 5:ウィザードの終了

ウィザードが完了しました。**[完了]**ボタンをクリックし、ウィザードを終了します。

5.2.2 ビデオ ウォール用のウィザード

iVMS-4200 ソフトウェアはデコーディング デバイスの追加やビデオ ウォールへの出力のリンクといったビデオ ウォール設定の基本的な操作をガイドしていくビデオ ウォール ウィザードを提供しています。



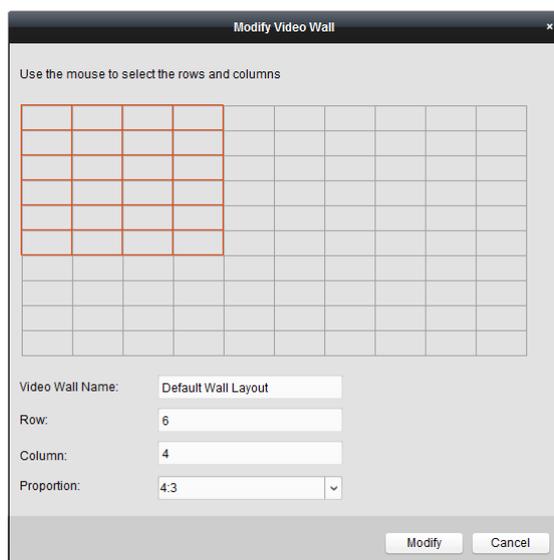
以下の手順を実行し、ウィザードを通してビデオ ウォールの設定を行ってください。

ステップ 1:ビデオ ウォールの編集

メニュー バーの**[ヘルプ]**をクリックし、**ビデオ ウォール ウィザードを開く**を選択します。ソフトウェアはデフォルトで3X3のビデオ ウォール ビューを提供します。

[デフォルト ビデオ ウォール]タブを右クリックし、**[ビデオ ウォールを編集]**を選択して、ビューを自由に変更することができます。

ポップアップ ダイアログ ボックスで、ビデオ ウォールの名前、行数、列数および比率を編集します。**[変更]**ボタンをクリックし、設定を保存してビデオ ウォール設定ウィザードに戻ります。



ビデオウォール設定ウィザードで、**[次へ]**ボタンをクリックして続行します。

ステップ 2:デコーディング リソース、ビデオウォールとデコーディング リソースのリンクの追加

手順 :

1. デコーディング出力パネル上で **+** をクリックすると、デコーディング デバイスの追加ダイアログボックスがポップアップします。
2. デバイス種別、追加モードを選択し、対応する情報を編集します。
 - デコーダについては、2つの追加モードが選択できます。
 - IP/ドメイン** : IP アドレスまたはドメイン名でデバイスを追加します。デバイスのニックネーム、IP アドレスまたはドメイン名、ポート番号、ユーザ名、パスワードを入力する必要があります。
 - IP セグメント** : 特定の IP セグメントに属する IP アドレスを持った複数のデバイスを追加します。デバイス群の起点 IP アドレス、終点 IP アドレス、ポート番号、ユーザ名、パスワードを入力する必要があります。
 - カスケーディングサーバについてはデバイスを IP アドレスで追加することができます。デバイスのニックネーム、IP アドレス、ポート番号、ユーザ名、パスワードを入力してください。
3. **[追加]**ボタンをクリックし、デバイスを追加します。

Device Type: Decoder

Adding Mode:

IP/Domain IP Segment

Nickname: []

Address: []

Port: 8000

User Name: admin

Password: []

Adding decoding device in Device Management interface is also available.

Add Cancel

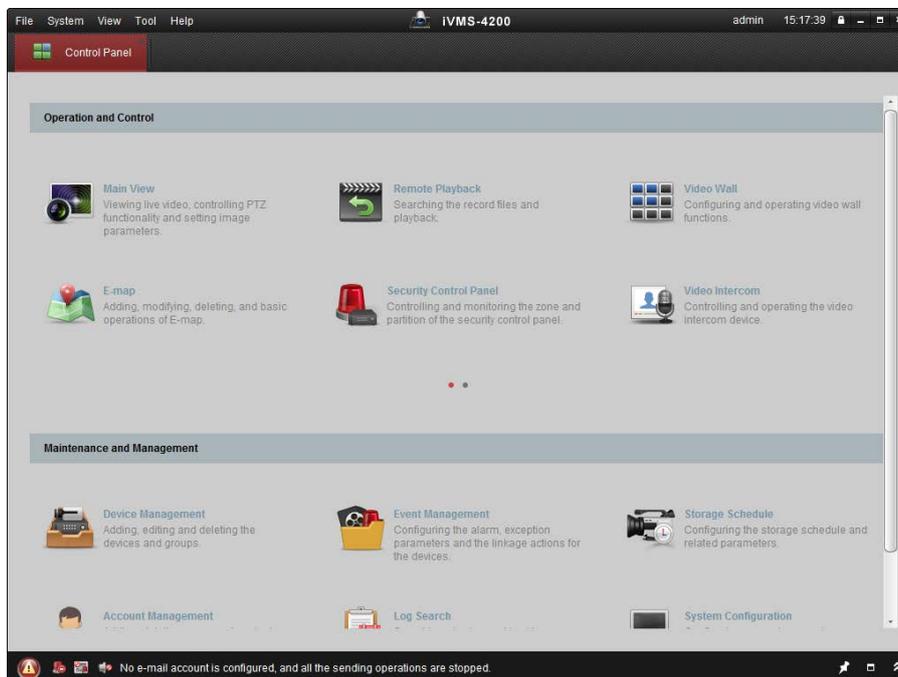
4. デコーディング出力エリアでは、デコーディング出力またはデバイスをビデオウォールビューにドラッグしてリンクすることができます。

注意：デコーディング出力は1つのモニタのみに関連付けることができます。

[完了]ボタンをクリックし、ウィザードを終了します。

5.3 コントロール パネル

iVMS-4200 は便利で効率的なソフトウェア操作のためのユーザフレンドリーな GUI を提供しています。ソフトウェアのメインコントロールパネルは以下のようになっています：



メニュー バー:

ファイル	画像ファイルを開く	ローカル PC に保存されたキャプチャ画像を検索、表示します。
	ビデオ ファイルを開く	ローカル PC に録画されたビデオ ファイルを検索、表示します。
	ログ ファイルを開く	バックアップ ログ ファイルを表示します。
	閉じる	iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを終了します。
システム	ロック	スクリーン操作をロックします。アンロックするには再度クライアントにログインします。
	ユーザーの切り替え	ログイン ユーザを切り替えます。
	システム設定ファイルのインポート	お使いのコンピュータからクライアント設定ファイルをインポートします。
	システム設定ファイルのエクスポート	お使いのコンピュータからクライアント設定ファイルをエクスポートします。
表示	1024 * 768	1024 * 768 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1280 * 1024	1280 * 1024 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1440 * 900	1440 * 900 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1680 * 1050	1680 * 1050 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	最大化	ウィンドウを最大表示します。
	コントロール パネル	コントロール パネル インターフェイスに入ります。
	メイン ビュー	メイン ビュー ページを開きます。
	遠隔再生	リモート再生ページを開きます。
	ビデオ ウォール	ビデオ ウォール ページを開きます。
	E マップ	E マップ ページを開きます。
	セキュリティ コントロール パネル	セキュリティ コントロール パネル ページを開きます。
	ビデオ インターコム	ビデオ インターコム ページを開きます。
	AUX 画面のプレビュー	AUX 画面のプレビュー ウィンドウを開きます。
ツール	デバイス管理	デバイス管理ページを開きます。
	イベント管理	イベント管理ページを開きます。
	ストレージ スケジュール	ストレージ スケジュール ページを開きます。

	アカウント管理	アカウント管理ページを開きます。
	ログ検索	ログ検索ページを開きます。
	システム設定	システム設定ページを開きます。
	ブロードキャスト	カメラを選択してブロードキャストを開始します。
	デバイス監視状態制御	デバイスの監視ステータスを設定します。
	アラーム出力コントロール	アラーム出力をオン/オフにします。
	一括ワイパー制御	複数デバイスのワイパーを一括で作動または停止します。
	一括時刻同期	複数デバイスの時刻同期を一括で行います。
	プレイヤー	ビデオ ファイルを再生するプレイヤーを開きます。
	メッセージ キュー	送信されるメール メッセージの情報を表示します。
ヘルプ	ウィザードを開く	クライアント設定のためのガイドを開きます。
	ビデオ ウォールウィザードを開く	ビデオ ウォール設定のためのガイドを開きます。
	ユーザーマニュアル (F1)	クリックしてユーザ マニュアルを開きます; またはキーボードの F1 キーを押して、ユーザ マニュアルを開くこともできます。
	製品について	クライアント ソフトウェアの基本的な情報を表示します。
	言語	クライアント ソフトウェアの言語を選択し、設定を有効にするためにソフトウェアをリブートします。

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアは以下の機能モジュールから構成されます:



メイン ビュー モジュールでは、ネットワーク カメラやビデオ エンコーダのライブ ビューや、画像のキャプチャ、録画、PTZ 操作といった基本機能の一部が提供されます。



リモート再生モジュールでは、ビデオ ファイルの検索、再生、エクスポート機能を提供されます。



ビデオ ウォール モジュールでは、デコーディング デバイスとビデオ ウォールの管理およびビデオ ウォールへのデコードされたビデオの表示を行う機能が提供されます。



E マップ モジュールでは、E マップ、アラーム入力、ホット リージョンとホット スポットの表示および管理ができます。



セキュリティ コントロール パネル モジュールでは、パーティションおよびゾーンの両方について、監視開始、監視解除、バイパス、グループ バイパスなどの操作ができます。



ビデオ インターコム モジュールでは、ビデオ インターコムに対し、インドアステーション経由で iVMS-4200 のグループ管理、カード管理、通知管理が提供されます。

 統計モジュールでは、ヒート マップ、人物カウント統計、カウント統計、道路交通量、顔抽出、車両ナンバー プレート、行動および顔検出統計機能が提供されます。

 デバイス管理モジュールでは、異なるデバイスの追加、変更、削除と、管理目的でのデバイスのグループへのインポートが行えます。

 イベント管理モジュールでは、監視スケジュール、アラームのリンクおよびその他の異なるイベントについてのパラメータの設定が行えます。

 ストレージ スケジュール モジュールでは、録画および撮影スケジュールの設定が行えます。

 アカウント管理モジュールでは、ユーザ アカウントの追加、変更、削除と、異なるユーザに対するそれぞれ異なる権限の付与が行えます。

 ログ検索モジュールでは、システム ログ ファイルの検索ができ、ログ ファイルは異なる種別によってフィルタすることができます。

 システム設定モジュールでは、一般的なパラメータ、ファイル保存パス、アラーム音およびその他のシステム設定が行えます。

機能モジュールは、コントロール パネル上のナビゲーション ボタンをクリックするか、[ビュー]または[ツール]メニューから機能モジュールを選択することで簡単にアクセスできます。

現在のユーザ、ネットワーク使用率、CPU 使用率、メモリ使用率、時刻といった情報はメイン ページの右上で確認できます。

5.4 ライブビュー

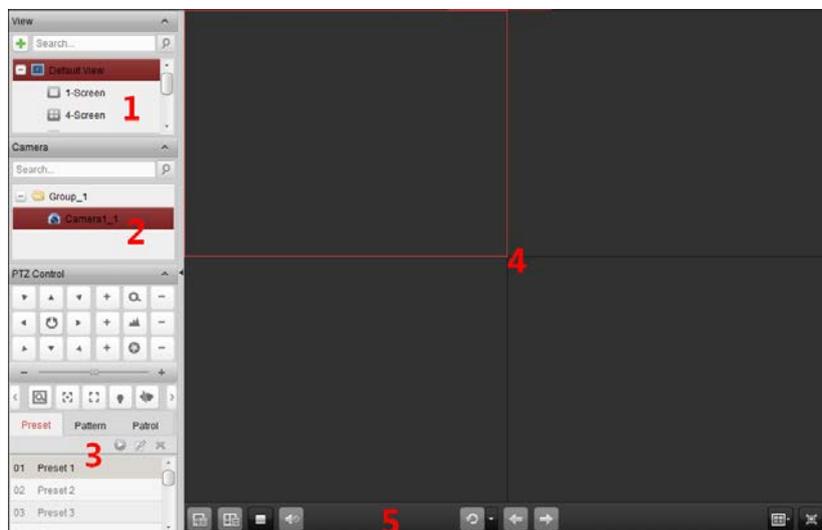
目的：

メイン ビュー ページで追加したカメラのライブ ビデオを確認できます。画像のキャプチャや手動録画、PTZ 制御等の基本的な操作も一部サポートされています。

始める前に：

ライブ ビューにはカメラ グループの定義が必要です。

コントロール パネル上の  アイコンをクリックするか、[ビュー]->[メイン ビュー]をクリックしてメイン ビュー ページを開きます。



メイン ビュー ページ

- 1 ビュー リスト
- 2 カメラ リスト
- 3 PTZ コントロールパネル
- 4 ライブ ビュー ウィンドウの表示
- 5 ライブ ビュー ツールバー

ライブ ビュー ツールバー:



メイン ビュー ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	ビューの保存	現在のビューの新しい設定を保存します。
	名前をつけてビューを保存	現在のビューを別の新しいビューとして保存します。
	ライブビューを停止	すべてのカメラのライブ ビューを停止します。
	ミュート/音声オン	ライブ ビューの音声のオン/オフを切り替えます。
	自動切り替えの再開/一時停止	クリックしてライブ ビューの自動切り替えを再開/一時停止します。
	メニューの表示/非表示	自動切り替えの設定メニューの表示/非表示を切り替えます。もう一度クリックすることで非表示にできます。
	前へ	前のページのライブ ビューに移動します。
	次へ	次のページのライブ ビューに移動します。
	ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。
	全画面	ライブ ビューを全画面モードで表示します。ESC を押して抜けることができます。

単一カメラでのライブ ビューの開始

手順:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの  アイコンをクリックして、ライブ ビューのウィンドウ分割モードを選択できます。
3. カメラを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、または表示ウィンドウを選択してカメラ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。

注意: 必要に応じてライブ ビューのカメラのビデオをクリック アンド ドラッグして別の表示ウィンドウに移動させることもできます。

カメラ グループでのライブ ビューの開始

手順:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. グループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、またはグループ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。

注意: 表示ウィンドウの数はグループ内のカメラの数に応じて自動調整されます。

デフォルト ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的：

追加されたカメラのビデオは異なるビュー モードで表示できます。4 つの頻繁に利用されるデフォルト ビュー モードが選択可能です:1 画面、4 画面、9 画面、16 画面。

手順：

1. メイン ビュー ページを開きます。
2.  アイコンをクリックしてデフォルト ビュー リストを展開します。
3. クリックしてデフォルト ビュー モードを選択すると、追加されたカメラのビデオが選択されたビューに順番に表示されます。

注意：  をクリックして、デフォルト ビューをカスタム ビューとして保存することができます。

カスタム ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的：

ビュー モードはビデオのライブ ビューのためにカスタマイズできます。

手順：

1. メイン ビュー ページを開きます。
2.  アイコンをクリックしてカスタム ビュー リストを展開します。
3.  をクリックして、新しいビューを作成します。
4. **[追加]** をクリックして、ビューの名前を入力します。新しいビューはデフォルトで 4 画面モードです。

オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの  アイコンをクリックして、新しいビューの画面レイアウト モードを選択できます。

5. カメラ/グループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、またはカスタムビュー モードでカメラ/グループ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。
6.  アイコンをクリックして新しいビューを保存します。または  をクリックして、ビューを別のカスタム ビューとして保存することもできます。

ライブ ビューの停止

手順：

1. 表示ウィンドウを選択します。
2. マウス ポインタを表示ウィンドウ上に置いた時に右上に表示される  アイコンをクリックするか、右クリック メニューの**[ライブ ビューの停止]**をクリックすることで表示ウィンドウのライブ ビューを停止することができます。
またはライブ ビュー ツールバーの  ボタンをクリックしてすべてのライブ ビューを停止できます。

5.5 録画

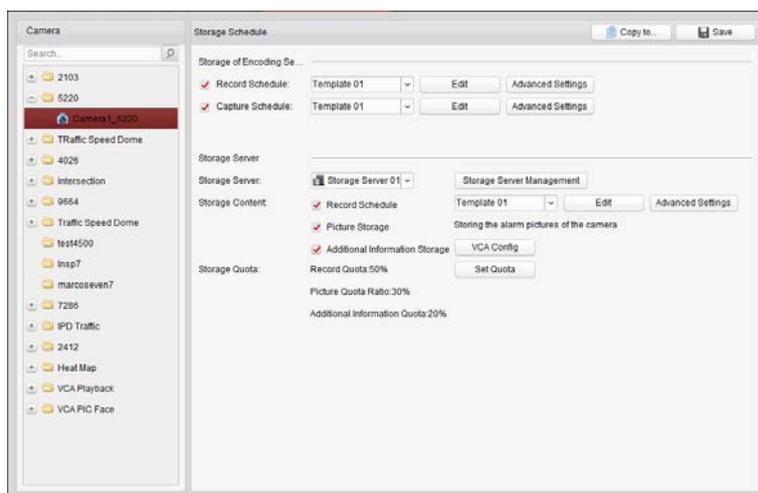
目的：

DVR、NVR、ネットワーク カメラを含む一部のローカル デバイスは、ビデオ ファイル用の HDD、Net HDD、SD/SDHC カードのようなストレージ デバイスを備えています。

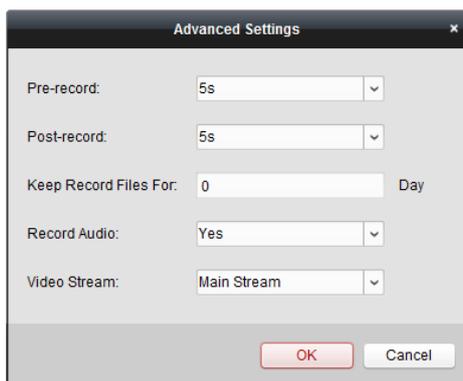
始める前に：

新たにインストールされたストレージ デバイスはフォーマットする必要があります。デバイス管理ページから、デバイスのリモート設定インターフェイスに入り、[ストレージ]->[一般]をクリックし、HDD をまたは SD/SDHC カードを選択します。[フォーマット]をクリックし、選択したストレージ デバイスを初期化します。

コントロール パネル上の  アイコンをクリックするか、[ツール] -> [録画スケジュール]をクリックして録画スケジュール ページを開きます。

**手順：**

1. 録画スケジュール ページを開きます。
2. カメラ グループ リストからカメラを選択します。
3. [録画スケジュール]チェック ボックスをチェックして、デバイスのローカル録画を有効化します。
4. ドロップダウン リストから、録画スケジュール テンプレートを選択します。
全日テンプレート:すべての日を通じて継続的に録画するためのものです。
平日テンプレート:日勤帯時間、午前 8 時から午後 8 時まで継続的に録画するためのものです。
イベント テンプレート:イベント トリガー録画のためのものです。
テンプレート 01~08:特定のスケジュールのための固定テンプレートです。必要に応じてテンプレートを編集できます。
カスタム:自由にカスタマイズすることができます。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、録画スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
5. [詳細設定]をクリックして、録画パラメータを設定します。
6. オプションとして、[コピー先...]をクリックし、録画スケジュールを他のカメラにコピーできます。
7. [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。



パラメータ	説明
事前録画	イベントが発生する前の録画を行いたい場合に、通常、イベント トリガー録画とともに用います。
事後録画	イベントの終了後、一定の時間ビデオを録画することもできます。
録画ファイルの保存期間	ストレージ デバイスにビデオ ファイルを保存する期間で、これを過ぎるとファイルは削除されます。この値を 0 に設定した場合、ファイルは恒久的に保存されます。
冗長録画	ビデオ ファイルを R/W HDD だけでなく冗長 HDD にも保存します。
音声記録	ビデオ ファイルを音声有りまたは無しで録画します。
ビデオ ストリーム	録画のストリーム種別を選択します。

録画スケジュール テンプレートの設定

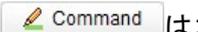
以下の手順を実行して録画スケジュール テンプレートを設定します:

ドロップダウン リストでテンプレート 01~08 を選択した場合、ステップ 1 から実行します; ドロップダウン リストでカスタムを選択した場合、ステップ 2 から実行します。

1. **[編集]**をクリックし、テンプレート管理インターフェイスに入ります。設定するテンプレートをを選択するとテンプレート名が編集できます。
2. 選択したテンプレートに対して時間スケジュールを設定します。

 **Schedule Recording** は通常のスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは  でマークされます。

 **Event Recording** はイベントによってトリガーされるスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは  でマークされます。

 **Command** はコマンドによってトリガーされるスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは  でマークされます。

注意: コマンド トリガーによる録画は、ATM DVR を iVMS-4200 に追加した際の ATM トランザクションに対してのみ利用可能です。

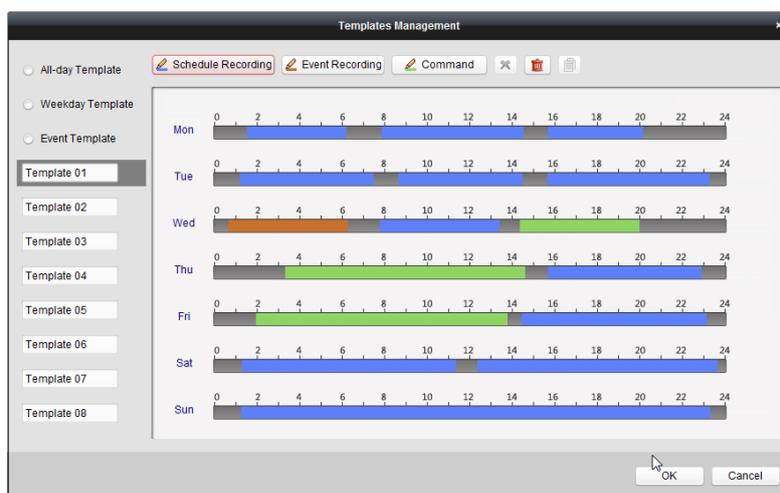
カーソルが  になったら、時間帯を設定できます。

カーソルが  になったら、今編集したタイム バーを移動できます。表示された時刻ポイントを編集して正確な時間帯を設定することができます。

カーソルがになったら、選択したタイム バーを伸ばしたり縮めたりすることができます。

- オプションとして、スケジュール タイム バーを選択し、アイコンをクリックして選択したタイム バーを削除するか、アイコンをクリックしてすべてのタイム バーを削除するか、アイコンをクリックしてタイム バーの設定を他の日付にコピーすることができます。
- [OK]ボタンをクリックし、設定を保存します。
カスタム スケジュール インターフェイスの[スケジュール テンプレートとして保存]をクリックして、カスタム テンプレートをテンプレート 01~08 として保存することができます。

注意：録画スケジュールでは、各日について最大 8 つの時間帯を設定できます。

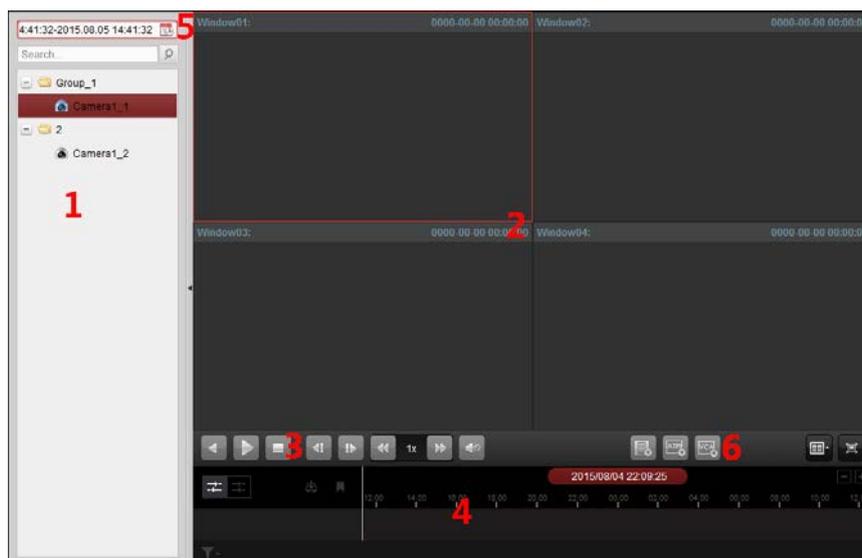


5.6再生

目的：

ローカル デバイスまたはストレージ サーバに保存されたビデオ ファイルはカメラまたはトリガーしたイベントによって検索でき、リモートから再生することができます。

コントロール パネル上のアイコンをクリックするか、[ビュー] -> [リモート再生]をクリックしてリモート再生ページを開きます。



リモート再生ページ

- 1 カメラ リスト
- 2 再生ウィンドウの表示
- 3 再生操作ボタン
- 4 タイムライン
- 5 カレンダー
- 6 検索条件

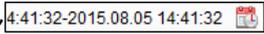
5.6.1 通常再生

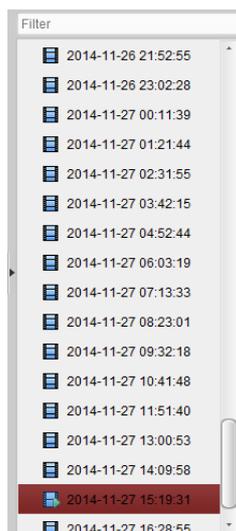
目的：

通常再生用のビデオ ファイルはカメラまたはグループ名によって検索できます。

通常再生用のビデオ ファイルの検索

手順：

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラまたはグループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、カメラまたはグループをダブル クリックすることで再生を開始できます。
3. 選択したグループまたはカメラに対して見つかったビデオ ファイルはインターフェイスの右側に表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることができます。
4. (オプション) カレンダー アイコン  をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。
日付を選択し、正確な時間を設定します。
[OK]ボタンをクリックすると、設定された日付近辺の 7 日間のビデオ ファイルが検索され、表示されます。

**注意：**

- 最大 16 までのカメラが同時に検索できます。
- カレンダー上では、スケジュールによる録画がある日は▲でマークされ、イベントによる録画がある日は▲でマークされます。

ビデオ ファイルの再生

通常再生用のビデオ ファイルの検索後、以下の 2 つの方法でビデオ ファイルを再生することができます。

- **ファイル リストによる再生**

検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ビデオ ファイル上の▶アイコンをクリックするか、ビデオ ファイルをダブルクリックして再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

または表示ウィンドウを選択し、ツールバー上の▶アイコンをクリックして対応するビデオ ファイルを再生します。

- **タイムラインによる再生**

タイムラインはビデオ ファイルの再生時間を表しており、ビデオ ファイルの種別ごとに色分けされます。タイムラインをクリックすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。

▶または▶をクリックして、タイムライン バーを拡大または縮小することができます。タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズームアウトを行うことができます。

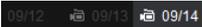


通常再生ツールバー:



通常再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
	再生の一時停止/再開	ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。
	再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
	シングル フレーム (逆方向)	ビデオ ファイルを 1 フレームずつ、逆方向に再生します。
	シングル フレーム	ビデオ ファイルを 1 フレームずつ再生します。
	スロー再生 / 高速再生	再生速度を遅く/速くします。
	音量	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
	イベント再生	動体検知やビデオ損失、ビデオ干渉などのイベントによってトリガーされた録画を検索します。
	ATM 再生	ATM デバイスの録画を検索します。
	VCA 再生	VCA 検索、侵入および境界線横断を含む VCA イベントが発生したビデオ ファイルを検索し、VCA ルールを適用します。
	ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。
	全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。ESC を押して抜けることができます。
	非同期/同期再生	クリックしてビデオ ファイルを同期または非同期で再生します。
	ダウンロード	カメラのビデオ ファイルをダウンロードします。ビデオ ファイルは PC に保存されます。ファイルごと、日

	タグ	付ごとにダウンロードが可能です。 ビデオ ファイルにデフォルト タグを付与し、ビデオ上の重要なポイントをマークします。タグを編集すること、または右クリックからタグ ポジションに移動することができます。
	フィルタ	任意の録画種別を表示できます。例: イベント録画のみを選択して表示することができます。
	日付	ビデオ ファイルを含む日付は  でマークされます。

5.6.2 イベント再生

目的:

動体検知、VCA 検知または行動解析などのイベントによってトリガーされた録画は、イベント再生用に検索することができます。この機能は、接続されたデバイスがサポートしている必要があります。

イベント再生用のビデオ ファイルの検索

手順:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラを選択し、通常再生を開始します。5.6.1 章通常再生を参照してください。
3. をクリックすると、デフォルトで動体検知によってトリガーされた録画が検索されます。
4. ドロップダウン リストからイベント種別を選択すると、条件に適合したビデオ ファイルが表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることができます。または、をクリックして通常再生に戻ります。
5. (オプション) カレンダー アイコン  をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。
日付を選択し、正確な時間を設定します。[OK]ボタンをクリックすると、設定された日付近辺の7日間のビデオ ファイルが検索され、表示されます。
注意: カレンダー上では、スケジュールによる録画がある日はでマークされ、イベントによる録画がある日はでマークされます。
6. 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ビデオ ファイル上のアイコンをクリックするか、ビデオ ファイルをダブルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

ビデオ ファイルの再生

イベントによってトリガーされた録画の検索後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再生することができます。

● ファイル リストによる再生

検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ツールバーのアイコンをクリックするか、またはビデオ ファイル上のアイコンをクリックするかビデオ ファイルをダブルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

● タイムラインによる再生

タイムラインはビデオ ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。

■または■をクリックして、タイムライン バーにズーム インまたはズーム アウトすることができます。

タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを行うことができます。

再生操作ツールバーの説明については 5.6.1 章通常再生参照してください。イベント再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

5.6.3 同期再生

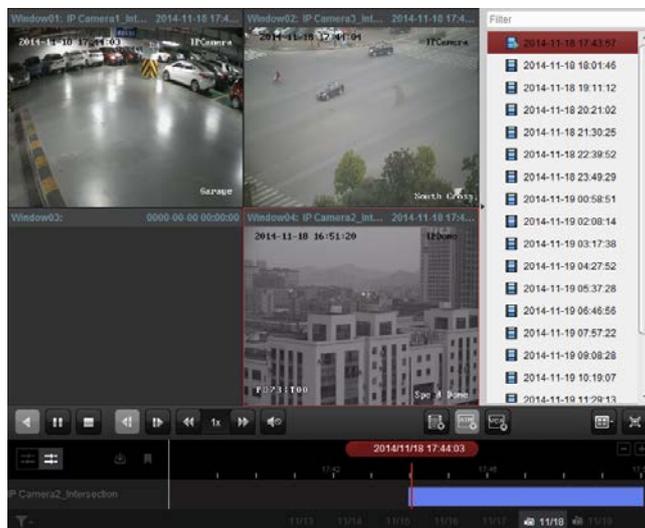
目的：

同期再生ではビデオ ファイルの再生を同期させることができます。

注意：最大 16 台までのカメラからのビデオ ファイルが同時に再生できます。

手順：

1. 通常再生用のビデオ ファイルを検索します。再生には最低でも 2 つのカメラが含まれます。
2. ツールバーのをクリックして、同期再生を有効化します。再生中のカメラが同期再生を開始します。
3. 同期再生を無効化するにはアイコンをクリックします。

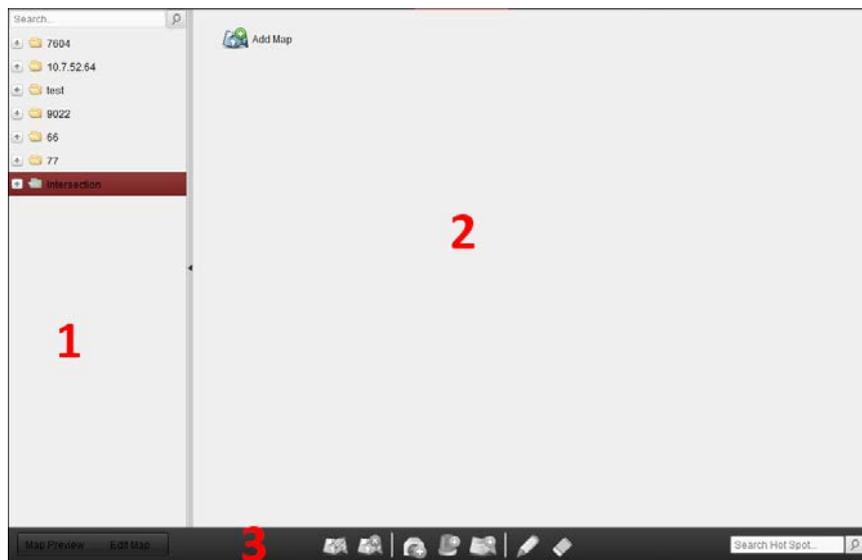


5.7E マップ

目的：

E マップ機能は設置されたカメラおよびアラーム入力デバイスの位置や分布についての視覚的な全体像を提供します。地図上でカメラのライブ ビューを確認することができ、アラームがトリガーされた場合には地図から通知メッセージが受け取れます。

コントロール パネル上の  アイコンをクリックするか、または[ビュー] -> [E マップ]をクリックして E マップ ページを開きます。



E マップ ページ

- 1 グループ リスト
- 2 マップ表示エリア
- 3 E マップ ツールバー

5.7.1 E マップの追加

目的：

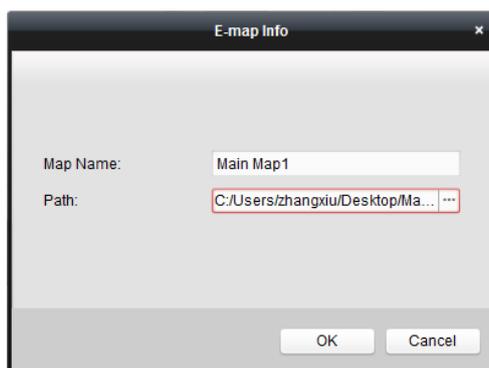
ホット スポットとホット リージョン用の親マップとして、E マップを追加する必要があります。

手順：

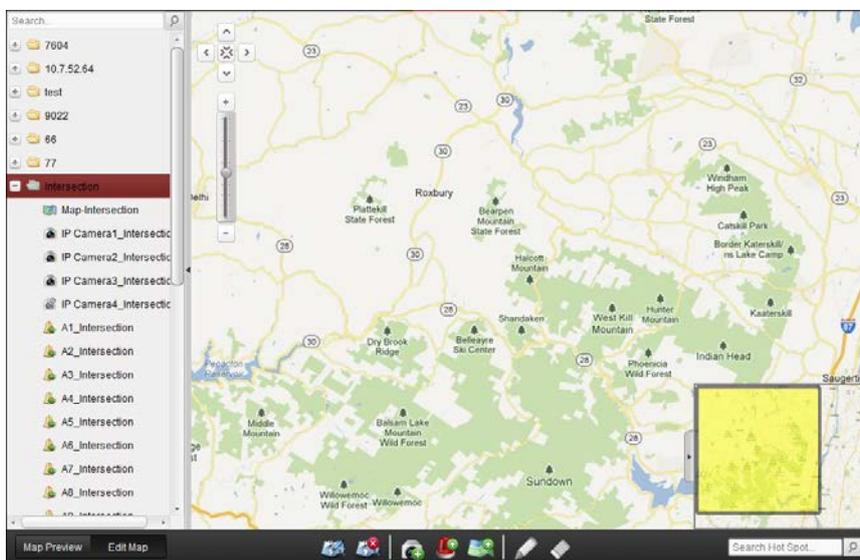
1. E マップ ページを開きます。
2. マップを追加したいグループを選択します。
3. マップ表示エリアの  アイコンをクリックして、マップ追加ダイアログ ボックスを開きます。
4. 追加したマップの内容がわかるような名前を自由に入力します。
5.  アイコンをクリックして、ローカル パス上のマップ ファイルを選択します。
6. [OK]ボタンをクリックし、設定を保存します。

注意：

- マップの画像フォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみが利用可能です。
- 1つのグループに追加できるマップは1つだけです。



追加されたマップはマップ表示エリアに表示されます。マウス ホイールを使うか \pm または \square をクリックしてマップにズーム インまたはズーム アウトできます。右下の隅の黄色のウィンドウをクリック アンド ドラッグするか、方向ボタンとズーム バーを利用してマップ エリアの表示を調整できます。

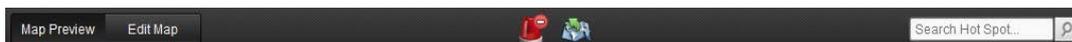


E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックするか、[マップ プレビュー]をクリックしてマップ編集モードもしくはマップ プレビュー モードに入ります。

マップ編集モードでの E マップ ツールバー:



マップ プレビュー モードでの E マップ ツールバー:



E マップ ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

- | | | |
|---|-------------------|----------------------------------|
|  | マップの編集 | マップの名前はファイル パスを含む、マップ情報を編集します。 |
|  | マップの削除 | 現在のマップを削除します。 |
|  | カメラの追加 | カメラをマップのホット スポットとして追加します。 |
|  | アラーム入力 の追加 | アラーム入力センサーをマップのホット スポットとして追加します。 |

	ホット リージョンの追加	マップを現在のマップのホット リージョンとして追加します。
	編集	選択したホット スポットまたはホット リージョンの情報を編集します。
	削除	選択したホット スポットまたはホット リージョンを削除します。
	アラーム情報のクリア	マップに表示されたアラーム情報をクリアします。
	親マップへ戻る	親マップに戻ります。

5.7.2 ホット スポット機能

目的：

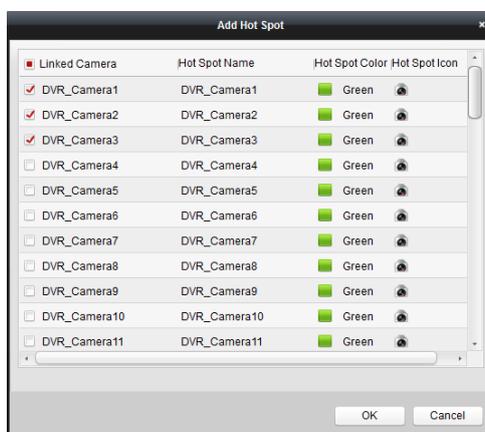
カメラおよびアラーム入力はマップ上に追加でき、ホット スポットと呼ばれます。ホット スポットはカメラおよびアラーム入力の位置を示します。またホット スポットを通じて、監視シナリオに含まれるライブ ビューやアラーム情報を取得できます。

ホット スポットの追加

カメラをホット スポットとして追加する

手順：

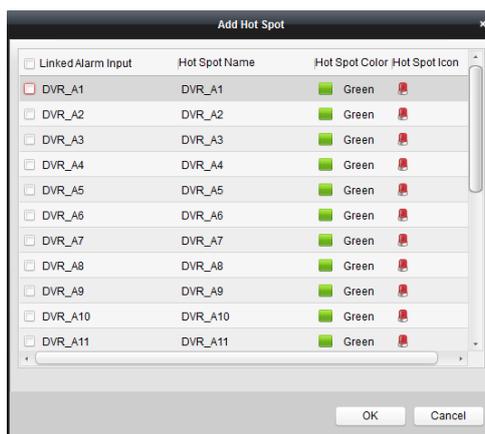
1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. ツールバーのアイコンをクリックして、ホット スポット追加ダイアログ ボックスを開きます。
3. チェック ボックスをチェックし、追加するカメラを選択します。
4. オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット スポット名を編集したり、名前の色を選択したり、ホット スポット アイコンを選択したりできます。
5. [OK]ボタンをクリックし、設定を保存します。
グループ リストからカメラ アイコンをマップに直接クリック アンド ドラッグし、ホット スポットを追加することもできます。



アラーム入力をホット スポットとして追加する

手順：

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. ツールバーのアイコンをクリックして、ホット スポット追加ダイアログ ボックスを開きます。
3. チェック ボックスをチェックし、追加するアラーム入力を選択します。
4. オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット スポット名を編集したり、名前の色を選択したり、ホット スポット アイコンを選択したりできます。
5. [OK]ボタンをクリックし、設定を保存します。
アラーム入力リストからアラーム入力アイコンをマップに直接クリック アンド ドラッグし、ホット スポットを追加することもできます。



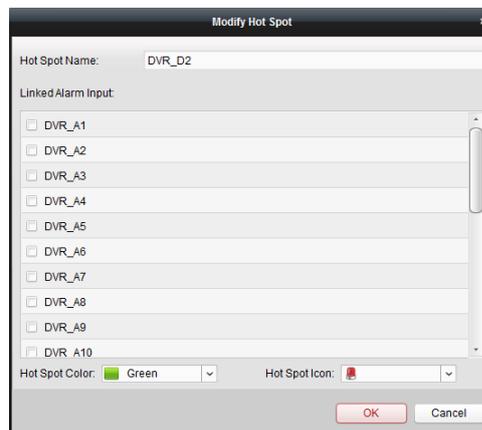
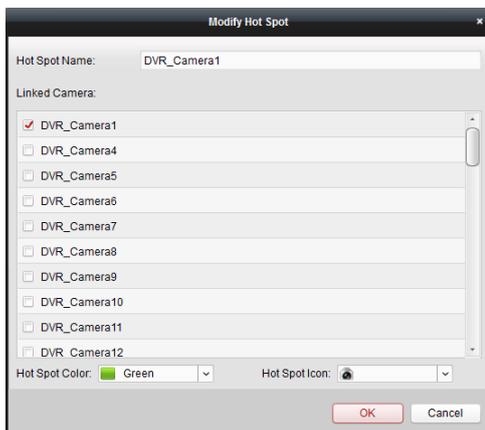
ホット スポットの編集

名前、色、アイコンなどの、マップに追加したホット スポットの情報を編集することができます。

手順：

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップのホット スポット アイコンを選択し、ツールバーのをクリックするか、またはマップのホット スポット アイコンをダブルクリックしてホット スポット編集ダイアログ ボックスを開きます。
3. テキスト フィールドでホット スポットの名前を編集したり、色やアイコン、リンクされたカメラまたはアラーム入力を選択したりできます。
4. [OK]ボタンをクリックし、新しい設定を保存します。

ホット スポットを削除するには、ホット スポット アイコンを選択し、ツールバーのをクリックします。

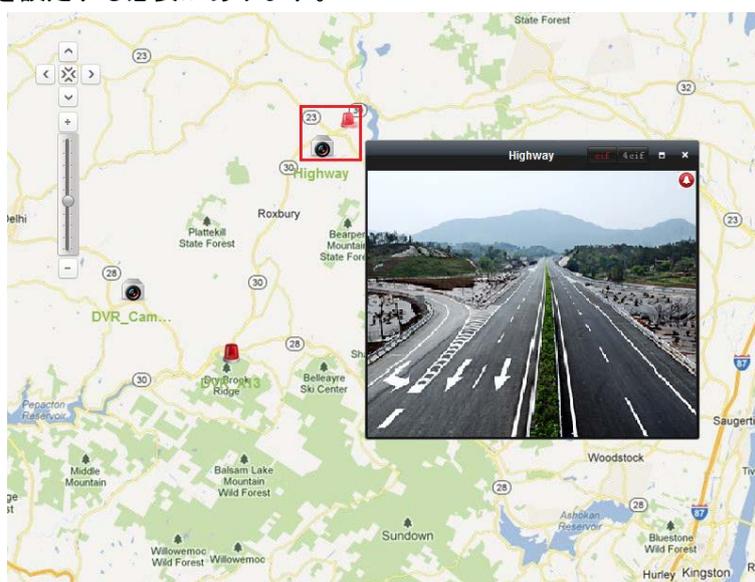


ホット スポットのプレビュー

手順：

1. E マップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
2. カメラ ホット スポットをダブルクリックするか、それを右クリックして[リスト ビュー]を選択し、カメラのライブ ビューを見ることができます。
3. アラームがトリガーされている場合、 アイコンが表示され、ホット スポットのそばで点滅します。アラーム アイコンをクリックすると、アラーム種別やトリガー時刻を含むアラーム情報をチェックすることができます。

注意：マップにアラーム情報を表示するには、アラーム リンク アクションとしてEマップ上アラーム機能を設定する必要があります。



5.7.3 ホット リージョン機能

目的：

ホット リージョン機能はマップを別のマップにリンクさせます。マップを別のマップにホット リージョンとして追加する場合、追加されるマップへのリンクのアイコンがメイン マップの上に表示されます。追加されたマップは子マップと呼ばれ、ホット リージョンを追加した先のマップは親マップとなります。

注意：マップは一度だけ、ホット リージョンとして追加できます。

ホット リージョンの追加

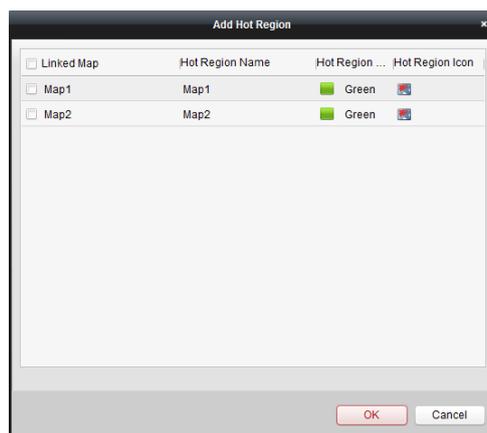
始める前に：

マップを別のグループに追加します。

手順：

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. 追加されたマップを親マップとして選択します。

3. ツールバーのアイコンをクリックして、ホット リージョン追加ダイアログ ボックスを開きます。
4. チェック ボックスをチェックし、リンクする子マップを選択します。
5. オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット リージョン名を編集したり、ホット リージョンの色やアイコンを選択したりできます。
6. [OK]ボタンをクリックし、設定を保存します。親マップに、子マップ アイコンがホット リージョンとして追加されます。子マップ アイコンをクリック アンド ドラッグしてホット リージョンを任意の場所に移動することができます。



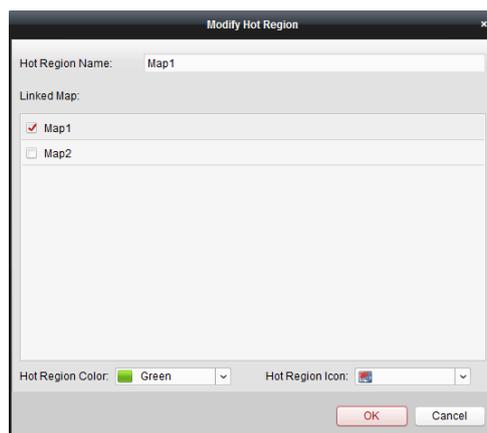
ホット リージョンの編集

目的：

名前、色、アイコンなどの、親マップ上のホット リージョンの情報を編集することができます。

手順：

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. 親マップのホット リージョン アイコンを選択し、ツールバーのをクリックするか、またはホット リージョン アイコンをダブルクリックしてホット リージョン編集ダイアログ ボックスを開きます。
3. テキスト フィールドでホット リージョンの名前を編集したり、色やアイコン、リンクされた子マップを選択したりできます。
4. [OK]ボタンをクリックし、新しい設定を保存します。
ホット リージョンを削除するには、ホット リージョン アイコンを選択し、ツールバーのをクリックします。

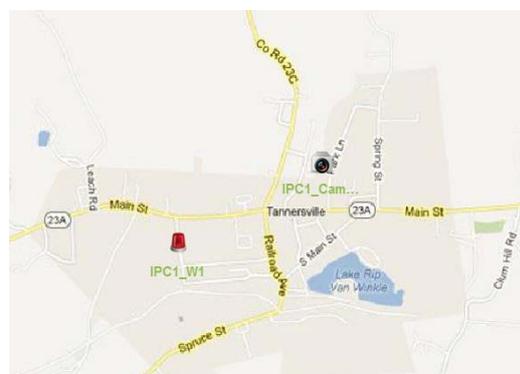


ホット リージョンのプレビュー

手順 :

1. E マップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
2. ホット リージョン アイコンをクリックし、リンクされた子マップに移動します。
3. ホット スポットもホット リージョンに追加することができます。
4. ツールバーの  アイコンをクリックして、親マップに戻ることができます。

ツールバーの  アイコンをクリックして、アラーム情報をクリアすることもできます。



5.8 ウェブ ブラウジング

目的 :

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアはウェブ ブラウザからもアクセスできます。ライブ ビュー、再生、デバイス管理、アカウント管理、システム設定などの機能が利用できます。

始める前に :

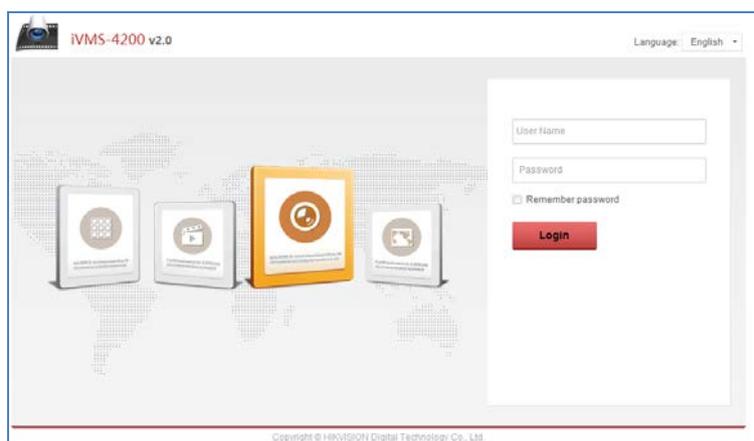
ウェブ ブラウザからソフトウェアにアクセスするには、事前にソフトウェアのウェブ サービスを有効化する必要があります。

注意 : ウェブ サービスを設定するには、システム設定モジュールに移動します。新しい設定はソフトウェア再起動後に有効になります。設定の詳細については iVMS-4200 ユーザ マニュアルを参照してください。

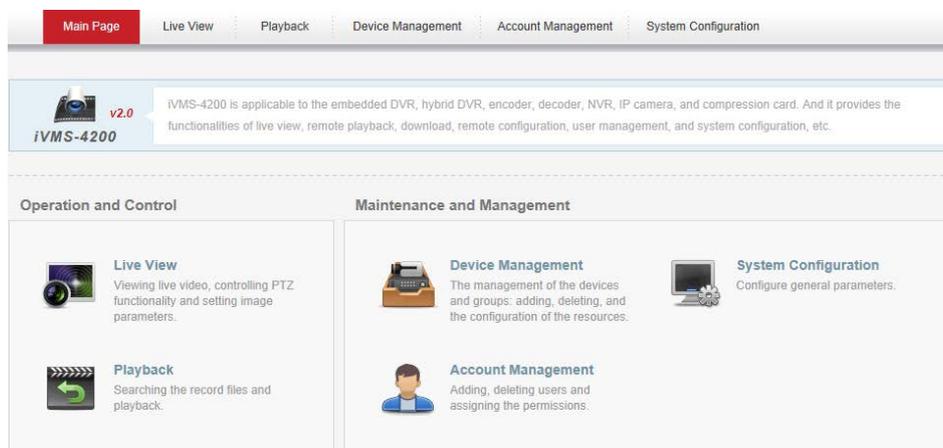
手順 :

1. ウェブ ブラウザのアドレス バーに、iVMS-4200 を実行している PC の IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。ログイン ウィンドウが表示されます。
注意 : ウェブ サーバのポート番号を変更している場合、ソフトウェアのアドレスは http://[PC の IP アドレス]:[ウェブ サーバのポート番号] (例: http:10.16.1.55:85) のフォーマットで入力する必要があります。
2. iVMS-4200 のユーザ名とパスワードを入力してください。
3. オプションとして、[パスワードを保存する]チェック ボックスにチェックし、パスワードを保存することができます。
4. [ログイン]ボタンをクリックします。

注意 : ログイン インターフェイスの右上隅で、言語を任意に設定することができます。



ログインするとウェブ ブラウザのホームページが以下のように表示されます。



6. システムの終了

トップ メニューの[ファイル]をクリックし、[終了]を選択するか、またはメイン インターフェイス右上隅の  をクリックすると確認のダイアログ ボックスがポップアップします。[OK] ボタンをクリックし、iVMS-4200 を終了します。

0204001050824



First Choice for Security Professionals

Made in China

HIKVISION | www.hikvision.com